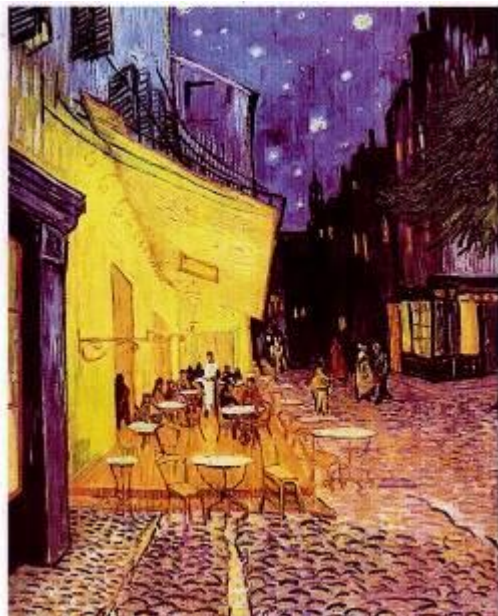




Subaru

昴男声合唱団

ニュース No.204 09.11.11



ゴッホ 「夜のカフェテラス」

光と風のカフェテラス 総合リハーサル

11月15日(日)

舞台衣装を忘れずに!

総合リハーサル

□ 日時 11月15日(日) 9:00~17:00

□ 場所 六甲幼稚園

□ 持ち物 **舞台衣装・3ステージ分**

①兵士服装(黒トレーナー上着、黒ベルト、黒ズボン、黒厚手靴下、黒靴)

②赤シャツ・九条バッジ・黒ズボン・黒靴

③明るい上着

④着替え入れの紙袋

□ 昴の登場ステージ

①「人間から」 (兵士の衣装)

②「アンチェインドメロディー」(赤シャツ・9条バッジ)

③「海よ故郷」 (")

④「住民」 記者会見→落成記念パーティ(明るい上着)

④「我が罪我が愛そして命」 (")



六甲幼稚園

阪急六甲下車・徒歩1分

阪急梅田 8:20 特急・新開地行

↓
西宮北口のりかえ普通5駅

六甲 8:48
徒歩1分

早大合唱団での奇跡の出会い、40年の時を経て、

2009年9月27日(日)
音楽の友ホール(新宿)

早大合唱団OB会報の
依頼により檀さんが寄
稿・掲載されました

愛と平和の 檀上さわえ・檀 美知生ジョイントリサイタル！！

12期 村嶋紀久男(檀 美知生)

9月27日神楽坂・音楽の友ホール、我が師、檀上さわえさんと「ジョイントリサイタル」を行い、超満員の観客席より“ブラボー！！”の音が響く感動的なコンサートとすることができました。

まず<第一部>シューベルト歌曲集で、最後に私のソロでの「魔王」を歌い切ったと同時に湧き起こった歓声と盛大な拍手で、その成功を感じ取ることができました。さらに<第二部>、石川啄木短歌集(高田三郎曲)の日本歌曲を温かく響きのある檀上ソロで、ますますの盛り上げをされました。そして後半『第三部』は、檀上ソロの真骨頂というべき炭鉱をテーマにしたうたごえ歌曲集でした。三池や夕張の炭鉱の首切りや炭鉱事故を現地で



共に闘われた熱い思いの、胸打つ演奏がなされました。それを受けて<四部>にて、私のために書き下ろされた「テノールソロのための組曲無言館」(作詞 村嶋由紀子13期で私の妻、作曲高平つぐゆき)の東京初演を果たすことができました。家族のため一生懸命働きながらも炭鉱事故で亡くなった父を思う檀上ソロや、絵を描き続けたいと思いながらも召集された若い画学生の私の歌に、涙を流して聴いてくださる観客も数多くおられました。深い人間愛と平和の思いを込めた歌だからこそ音楽の本源に迫る感動を与えられたのではないかと思います。

私たち夫婦が早大合唱団に在籍した頃は、学園闘争、70年安保闘争と歴史渦巻く世情で、ちょうどその時、団の指導



に来られていたのが檀上先生でした。この出会いは、私たちの人生観、世界観から芸術観まで与えてくれた奇跡の出会いでした。常に「誰のために何を歌うのか」の音楽の本質についてのご指導をくださり、その後の私たちに一筋の道を鮮やかに示してくださいました。卒業後、私はIBMでビジネス戦士、妻由紀子は中学教師と激烈な仕事の道を歩むと同時に合唱団TERRAを創立、音楽活動と両立させての日々も、その価値観を失うことなく貫き続けることができたと自負しています。

それも在学中ばかりでなく、この20年間毎月東京より神戸まで個人声楽に通ってくださった檀上先生の支えなしには語るできません。

さらに私はその檀上先生のご紹介で金光良美先生の個人声楽を受講、毎月上京して声を磨き続けたことも今回の成果を实らせたと思っています。正しい発声法で訓練を続けることは、ご高齢になられても今なお艶やかな声で感動の歌声を響かせていることでも示されています。

最後に私は団塊の世代真っ只、高度成長、厳しい経済競争の中で生きてきた世代の者として、戦争を知る先人から平和や命の大切さを子や孫に伝えてゆくべきだと思うのです。そういう意味でこれからも「愛と平和の伝え人」として声をさらに磨き、声の続く限り歌い続けたいと思います。